小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956－0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL（0250）38－2234
FAX（0250）38－3041
編集 公民館報編集委員会

『家庭は最初の学校』

新津南高等学校長 大場 登

かけがえのない我が子のために…

この文章が公民館報に載るのは八月十五日と聞いています。ちょうどお盆のころである。今年の夏休みも半分が過ぎ、子どものいる家庭では、学校の宿題が少しずつ気に掛かるころだろうか。

自分の学校時代を振り返れば、やはり同じような気分で過ごした遠い昔の夏休みが思い出される。我が家には扇風機もなく、「朝の涼しいうちに」という親の言葉を思い出す。太陽が高く昇らない午前中の涼しいうちに勉強をしなさいという意味の言葉である。午前中はなんとか頑張って、午後一杯を佐渡の海で遊び、夕方、くたびれてセミの鳴き声がまだ激しく聞こえる我が家に戻る。

小学校、中学校時代の私の夏休みは毎日がこうだった。特別な旅行をしたこともなく自分の行動範囲はせいぜい親父の自転車を借りて行ける範囲だった。かなり貧しかったあの子ども時代、しかし、当時、何を不自由と感じたか、それを思い出そうとしてもすぐ頭に浮かばない。今から考えれば、不便、不自由なことはたくさんあったはずだが、それに気付かないほどあのころの子ども時代は満ち足りて充実していたような感じがする。四十年以上も前のことだから少々美化して思い出せるのかも知れないが、なつかしい遠い昔の自分の夏休みである。あの宿題の思い出もまたよみがえってくる。

人間を自律できる存在として育て上げることは、教育の担う本務である。しかし、物の生産のように時間の経過とともに予定された結果が出てくるという絶対的な方法論は人間の育成・教育にはたぶんないと言ってもよいだろう。

家庭は「最初の学校」だという。まず小学校入学までに家庭でたっぷりと親が愛情を込めて育てること、これが学校教育の成否につながる大きな条件になっていることは間違いない。

学校は集団教育が基本であり、他人との協調性や社会性の訓練では家庭教育より勝ると思われる。しかし何と言っても人間を個別に理解してすぐ対応できることにおいては、家庭という環境が一番だと思う。

一人一人の子どもの育成を思えば、学校の教師より親のほうがはるかに指導の場面が多い。ただ、「親業」という言葉があるように、親が子どもの親として本来的に機能することが前提である。こういう意味で、確かに家庭は「最初の学校」であり、小学校から始まる学校教育はそれに続くことになる。

学校では様々な家庭環境、生育環境を持つ子ども達を預かり様々な切り口で教育する。そして、その効果を期待する。しかし、予想したようにはなかなかうまくいかない。ひどいときは、これが教育の結果かと嘆くほど逆の現象が起こるときもある。昨日今日報道されている幼稚園児殺害に係る中学一年生による犯罪などは教育関係者としては説明のしようがないほど異常な事件である。

科学技術の発達のお陰で、日常生活には苦労や我慢する場面が極めて少なくなった。省力化に代表される電器製品や車社会等のおかげである。

最近の情報技術（ＩＴ）は、さらに上を行く。こんなことまでできていいのかと思えるほど技術は進んでいる。実際追い着くのが大変である。私はそこそこまでは頑張るがとうてい追いつけない。私はもともと英語の教師だが、最近では、辞書と言えば当然であった従来の「紙」の辞書より電子辞書の方に出版会社は販売の力を入れているという。

こんな世の中に今の我々はいる。大人も子どももだ。

自分を鍛えるためにしなければならない我慢は、絶対必要で、なくならないものだ。時代が変わっても、子ども達には学習への努力という形で我慢が必要だと思う。努力の本質は「我慢」である。努力の成果は必ずしも期待できるものではないが、人生においては必要条件である。

努力に見合う成果がほしいと思うのも人情であるが、なかなか成果が出ないのも世の常である。こういう構図の中で生きている我々も子どもも「我慢」が必要なのだ。我慢の過程はだれにとっても大変だが、神はその成就に「喜び」を与えてくれている。

あの遠い昔の夏休みが、本当に懐かしく思い出させる。

ちょこっと一言 (185)

商店街活動に参加して

本町一 笹川 修さん

家業継承のため昨年秋に小須戸町へ転入して参りました。

商工会や商店街の活動を通じて感じたことは、もう少し町に活気が必要なのではないか、地域の方々からのご理解が頂けてないのではないか、ということです。

近隣市町には、安くて何でも揃う複合商業施設がどんどん建設されており、商店街もその流出動向に頭を抱えています。商店街には懸命に勉強されている方、すばらしいアイディアを持っている方など優秀な方々がたくさんおられます。そういった方々が意見を持ち寄り、商店街活性化に取り組んでおります。

地産地消が叫ばれている昨今、地元の良い所をみいだし発信して行きますので、地域の方々のご協力をお願い致します。

分館だより

～スポーツ大会の結果～

小須戸分館ソフトドッチボール大会

（七月十三日・小須戸中学校体育館）
・参加者120人・参加6チーム

優勝 松チーム
準優勝 竹チーム

横水分館運動会
～小向チーム、久々の優勝～

（七月十三日・小須戸小学校体育館）
― 大会結果 ―

優勝 小向チーム
二位 水田チーム
三位 横川浜チーム
四位 文京町チーム

高山・川村・大橋 いざ、全国高校総体へ出場!!

平成十五年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が、七月二十八日から長崎県内各地で開催されます。

その大会に当町より次の三名の選手が出場します。

種目 剣道男子団体
学校 新潟高志高校・三年

高山勇輔さん（新保３）

種目 バドミントン団体戦
学校 新潟青陵高校・三年

川村朋子さん（若葉町３）

種目 レスリング団体
学校 三条工業高校・二年

大橋憂騎さん（蔵町１）

県代表選手として優秀な成績をおさめられますように、心からご健闘をお祈りいたします。

スポーツ大会結果

小須戸町グランドゴルフ第一回記念大会

七月八日(火)、スポーツ公園野球場芝広場において、小須戸町グランドゴルフ協会主催の第一回記念大会を開催。

入賞者は、次のとおりです。

優勝 森林春雄（松ヶ丘）
準優勝 宮田 正（松ヶ丘）
第三位 岡部征也（松ヶ丘）

〈ホールインワン賞〉
・森林 春雄 ・猪股トミイ
・宮田 正 ・木村 定
・岡部ミサオ ・岡部 征也

なお、今大会で入賞した上位三名と多数の会員が、九月二十一日(日)長岡市国営越後丘陵公園にて開催される「第十回新潟県グランドゴルフ交歓大会」に参加を予定しています。

つわもの一同、勢揃い

一声の広場募集要項

内容 学校や家庭、友達や人間関係などにおける悩み。感動したことなど。
対象 中学生以上の一般市民
字数 三百字程度
郵送を原則とします。
匿名希望でも結構です。
郵送先 〒九五六―〇一〇一 小須戸町中央公民館
※なお、記事の選考は公民館報編集委員会でおこないます。

力を合わせて、充実感!!

～親子チャレンジ教室で地引き網～

七月十二日、当日の天気はあいにく小雨でしたが巻町の越前浜で親子四十五名が地引網に挑戦しました。

地引網は二手に分かれて、両方がお互いに相手のことを気にしながらゆっくりゆっくりと引くことがコツだそうで、網を引くときもチームワークが必要になってきます。

引き方が悪いと、網が砂に潜ったり魚がみんな逃げてしまうからです。

やった～！そこそこ大漁？

地引網は親子チャレンジ教室では、初めての活動でしたが、思ったよりも網が重く漁師の方が「いい」と言うまで無我夢中で網を引きました。

主に子イワシ（体長6センチ程度）が発砲スチロールに二箱びっしりと獲れましたが、その獲物の小さにみんなが呆然としてしまいました。

獲った魚は民宿で調理をし、新鮮な魚を朝食にして舌鼓を打ちました。

参加者からは「おもしろかった」、「また行きたい」という感想が聞かれました。

全員が同じ目的で力を合わせて何かを成し遂げるという活動の清々しさや充実感を得ることができました。

ふれあい電話相談

教育相談をはじめ、いろいろな電話相談に応じます。

◆九月の相談日
五日(金)・十二日(金)
十九日(金)・二十六日(金)

◆受付時間
午後一時～五時

◆電話番号
三八―三三〇〇

◎お名前は、言わなくていいです。
◎秘密は、固く守ります。

参加者募集

◎第9回小須戸町シングルステニス大会

期日　九月七日(日)午前九時開始
（雨天の場合は九月十四日）

種目　男子シングルスAクラス、Bクラス
女子シングルスAクラス、Bクラス

参加料　千円（協会員は無料）

主催　小須戸町テニス協会

申込み　申込書に必要事項を書き、公民館または、スポーツ公園管理事務所へ申込み下さい。

申込期日　九月五日(金)まで

◎第21回町民俳句大会

～皆さんの作品を募集します～

多数のご参加を、お待ちしております。初心者大歓迎!!

対象　町民及び当町に通勤・通学の方

投句　「一般の部」「高校生の部」「中学生の部」
当季雑詠（未発表）
三句一組限り

締切り　九月十七日(水)

投句先　中央公民館

表彰　町長賞・議会議長賞・教育長賞・中央公民館長賞　他

※入選作品は、十一月上旬に行われる中央公民館「町民展」に展示します。

主催　小須戸町俳句同好会

地域、再発見

第10回山ノ手チャリティーゴルフ大会

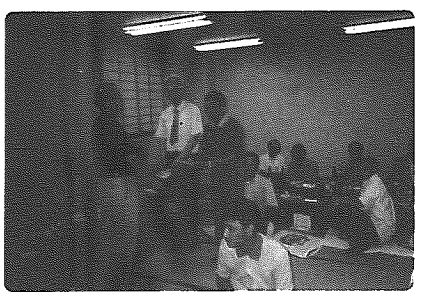
多大なご寄付に感謝します

七月六日、湯田上カントリークラブで参加者五十三名でゴルフ大会を開催しました。

大会終了後、矢代田小学校、ほほえみ作業所に、大会の主旨に賛同した会社、個人の寄付、及び参加費の一部を寄贈しました。

―大会結果―

優勝　石井勝則（矢代田5）
準優勝　高野正幸（天ケ沢2）
三位　土田秋雄（天ケ沢1）



「みなさん、ありがとうございました」

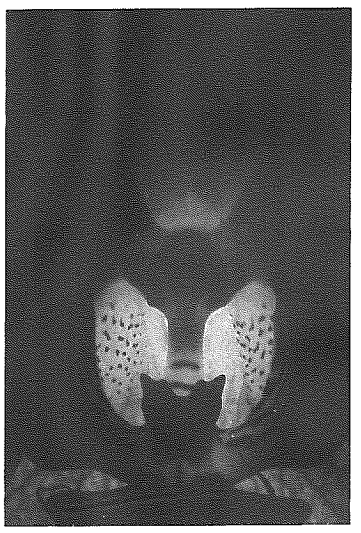
第58回　県展入選作品の紹介(2)

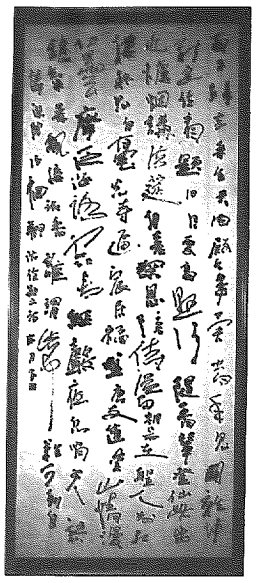
『胡蝶蘭』（写真）

風間　忠雄さん

花の色、形の美しさに魅せられてシャッターを切りました。

▼





▲

『沈佺期詩』（書道）

菊地　伸一さん

淡々と書連ねたり、白熱したり、心の変化の色々を表現したいと思いました。

文化講演会

『自分らしく生きる』を聞いて

今年は、元日本テレビの美人アナウンサーとして多岐にわたって活躍してこられた**石川牧子さん**から「自分らしく生きる」というテーマで講演をしてもらいました。

石川さんは、たった一度の人生をどのようにして「自分らしく生きたらいいかという事」を、自分の体験を含めて熱っぽく語ってくれました。

日本人は、とにかく「個」としての生き方に弱く、特に女性は「だれだれのお母さん、だれだれの奥さん」と言うように名無しの人生を送りがちだが、社会の中で支えあいながら、自分のグラウンドで自分らしく生きることの大切さを語られ、「プラスの方向で言葉を並べ替えて生きていくことで自分の人生が生まれる」と言われた事には、本当にその通りと納得でした。

最後に日本語には「こんにちは」「おめでとう」「ありがとう」など、たった一瞬で、自分が元気になり、人を感動させられる言葉がある。大切にしたいという締めくくりは印象的でした。

二〇〇名以上の聴衆が熱心に耳を傾け感動のうちに終わる事ができました。

図書だより〈新刊案内〉

▼中央公民館▲
○石の中の蜘蛛　浅暮　三文
○吾妹子哀し　青山　光二
○プルミン　海月　ルイ
○約束の冬　宮本　輝
○不安の力　五木　寛之
○バカの壁　養老　孟司
○朝には紅顔ありて　大谷　光真
○ひとりが、いちばん！　橋田壽賀子
○ヘタな人生論より徒然草　荻野　文子
○出身県でわかる人の性格　岩中　祥史
○ラブリー・ボーン　アリス・シーボルト
他七十四冊

▼ふれあい会館▲
○ZOO（ズー）乙　宮本　輝
○父のことば　室井　滋
○心ひだひだ　他十五冊

シリーズ「今、子どもたちは」(83)

「ほっとひと息おやつの時間」

山ノ手児童クラブ

学校での一日を終え、様々な思いを抱えて急な坂道を真赤な顔で登ってくる子ども達。

家庭のようなホッとできる一時をどのように提供しようか？と試行錯誤の毎日です。中でも子ども達の一番の楽しみといえばなんといっても、おやつの時間。ただ空腹を満たすだけでなく、何年か過ぎた時に思い出に残るようなおやつの時間にしたいと考えました。

そこで子どもの頃に食べた味噌おにぎりのおいしさにヒントを得て、月に何回かおやつクッキングの日を設けることにしました。といっても短時間にできる簡単なメニューばかり。何よりも自分達が作った物は美味しいようで、みんな笑顔がこぼれます。

友達とおしゃべりをしながら楽しそうに食べる姿は私達を幸せな気持ちにさせてくれます。明日は何のおやつにしようかな？

「今日の宿題はむずかしいなぁ」

文芸欄

句

十薬の香を掌に残し厨事　田中美根子
磐梯山の稜線かすむ合歓の花　馬場綾子
雨音のここちよき朝百合ひらく　吉澤文子
十薬の花に小雨の弔中札　間野良遊
茅葺家奥に奥ある青葉冷え　坂井隆思
半襟の白の着こなし名古屋場所　東樹ちよ
水打てば狭庭も生まれ風の道　長井武雄
退院の躑躅まっかに咲きみたり　井本マツ子
十薬のひとかたまりを絶やさずに　丸山栄子

俳

初孫の誕生指を折って待ち　栗原ひさし
順風へ計算外のテロ行為　保科一路
甘かった数字で狂う見積り書　我妻清作
魂胆をバラ百本にもう読まれ　増井都留

柳（題：計算）川